



## 平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ファーストリテイリング

コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柳井 正

問合せ先責任者 (役職名) グループ上席執行役員 CFO (氏名) 岡崎 健

TEL 03-6865-0050

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年8月期第3四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	1,088,004	22.8	136,292	9.9	141,163	△0.6	84,836	△4.1
25年8月期第3四半期	885,814	19.1	124,037	4.0	142,034	19.6	88,421	21.9

(注) 包括利益 26年8月期第3四半期 85,535百万円 (△64.3%) 25年8月期第3四半期 239,452百万円 (158.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年8月期第3四半期	832.50	831.70
25年8月期第3四半期	867.97	867.14

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年8月期第3四半期	955,707		635,078		63.8	
25年8月期	885,800		579,591		63.2	

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 609,512百万円 25年8月期 559,397百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年8月期	—	140.00	—	150.00	290.00
26年8月期	—	150.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	150.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,370,000	19.9	145,500	9.5	149,500	0.3	78,000	△13.7	765.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) UNIQLO AUSTRALIA PTY LTD 、除外 1社 (社名)  
 (注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期3Q	106,073,656 株	25年8月期	106,073,656 株
② 期末自己株式数	26年8月期3Q	4,157,709 株	25年8月期	4,177,164 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年8月期3Q	101,905,654 株	25年8月期3Q	101,871,574 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定報的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 部門別売上実績 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年9月1日～平成26年5月31日。以下、当期）の連結業績は、売上高が1兆880億円（前年同期比22.8%増）、営業利益は1,362億円（同9.9%増）、経常利益は1,411億円（同0.6%減）、純利益は848億円（同4.1%減）となりました。全てのセグメントの売上高、営業利益で増収増益を達成しており、特に海外ユニクロ事業が大幅な増収増益となっております。営業外収支では為替差益が前年同期比で125億円減少した結果、経常利益、純利益は前年同期比で若干の減益となっております。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界No.1 アパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に海外におけるユニクロ事業に力を注いでおり、出店を加速する一方で、世界主要都市にグローバル旗艦店・繁盛店を出店し、ユニクロブランドの認知度を高め、事業の基盤強化を図っております。また、グローバルブランド事業においても、ジューシー事業、セオリー事業の積極的な事業の展開を図っております。

#### [国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の当期の売上高は5,694億円（同5.1%増）、営業利益は948億円（同7.3%増）と増収増益となりました。増収となったのは、既存店売上高が2.4%増収となったこと、スクラップ&ビルドによる店舗の大型化で1店舗当たりの売上高が増加したこと、5月末の直営店舗数が前年同期末比で8店舗増加したことによります。5月末の国内ユニクロの直営店舗数は841店舗（フランチャイズ店21店舗除く）となりました。既存店売上高2.4%増収の内訳は、客数が0.5%減、客単価が2.8%増となっています。売上高総利益率は同1.7ポイント改善しておりますが、これは、春夏のコア商品や新商品の販売が好調だったことから、値引き率を計画通りコントロールすることができたことによります。当期の売上高販管費比率は同1.3ポイント上昇いたしました。これは主に、パート・アルバイトなどの店舗人件費が増加したこと、定番商品の在庫を積み増したことによる物流費・倉庫費の増加によるものです。

#### [海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の当期の売上高は3,277億円（同71.3%増）、営業利益は343億円（同75.1%増）と連結売上高合計の3割を超え、計画通り大幅な増収増益となりました。特にグレーターチャイナ（中国・香港・台湾）、韓国、欧州は、好調な既存店売上高の伸びが続いており、計画を上回る増収増益を達成しております。海外ユニクロ事業全体の5月末の店舗数は、前年同期末比188店舗増の598店舗まで拡大いたしました。

グレーターチャイナにおける同期間の業績は、計画を上回る大幅な増収増益となりました。77店舗を出店（2店舗閉店）し、5月末店舗数は355店舗に達しています。同様に韓国も、既存店売上高の増収が続き、計画を上回る増収増益となっております。5月末の店舗数は132店舗に達しております。欧州事業（英国・フランス・ロシア・ドイツ）は計画を上回る増収増益を達成しております。4月にドイツへ初出店したベルリンのグローバル旗艦店も順調に推移しております。

米国事業では、ニューヨーク3店舗が2桁増収を継続しております。当期にショッピングモールへ14店舗出店し、特に西海岸での店舗の売上が好調に推移しております。ただし、米国事業では出店費用が増加しているため、今期も赤字が継続しております。東南アジア・オセアニア地区では、5月までの3ヵ月間の売上が計画を下回ったことから、営業利益は計画を下回っております。ただし、4月にオーストラリアに初出店したメルボルン店は計画以上に好調な売上を達成し、順調な業績となっております。

#### [グローバルブランド事業]

グローバルブランド事業の当期の売上高は1,888億円（同25.2%増）、営業利益は149億円（同11.3%増）と増収増益を達成いたしました。5月までの3ヵ月間では、ジューシー事業とJ Brand事業が計画を下回ったことから、グローバルブランド事業の当期の営業利益は若干計画を下回っております。ジューシー事業の当期の売上高は増収、営業利益は若干の増益、セオリー事業の売上高は増収、営業利益はほぼ前年並み、コントワー・デ・コトニエ事業の業績は計画を上回る増収増益、プリンセス タム・タム事業は計画を下回る減益となっております。

【CSR活動】

当社グループのCSR活動は「社会的責任を果たす」「社会に貢献する」「社会の問題を解決し新たな価値を創造する」ことを基本方針とし、グローバルかつ地域に根ざした活動に取り組んでおります。

バングラデシュの首都、ダッカ近郊サバール地区の商業施設「ラナ・プラザビル」の崩壊事故が、2013年4月24日に発生してから約1年が経過いたしました。当社は縫製工場で働く労働者の安全確保が最重要課題の一つであるという認識のもと、火災予防および建設物の安全性確保に向けた取組みを強化してまいりました。自主検査の実施や、「バングラデシュにおける火災予防及び建設物の安全に関する協定 (Accord on Fire and Building Safety in Bangladesh)」(アコード)への署名など、この1年の改善へ向けた取組みの進捗状況を、当社ホームページでご報告しております。

東日本大震災発生から約3年が経過し、当社は「ユニクロ復興応援プロジェクト」として継続的に復興支援活動に取り組んでおります。ユニクロのホームページにて、進捗や活動報告を、随時掲載しております。

お客様からユニクロとジーユーの商品をお預かりし、服を必要とする人々に届ける「全商品リサイクル活動」では、10カ国の店舗で累計2,915万点以上を回収し、46カ国に1,129万点(2014年3月末現在)を寄贈しております。また、緊急で服が必要なシリア難民に、この冬を越すための冬物衣料を届けるための新たな回収強化キャンペーンを、4月末から国内ユニクロ全店で展開しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,557億円となり、前連結会計年度末に比べ699億円の増加となりました。これは主として、現金及び預金が757億円増加したことによるものです。

負債は3,206億円となり、前連結会計年度末に比べ144億円の増加となりました。これは主として、引当金が36億円減少したこと、流動負債のその他が172億円増加したことによるものです。

純資産は6,350億円となり、前連結会計年度末に比べ554億円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が542億円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます)は、前連結会計年度末に比べ433億円増加し、3,390億円となりました。

営業活動による収入は、1,132億円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益1,415億円によるものです。

投資活動により支出した金額は、393億円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出303億円によるものです。

財務活動により支出した金額は、357億円となりました。これは主として、配当金の支払額305億円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、以下のとおり修正いたします。

なお、平成26年4月10日付「平成26年8月期 第2四半期決算短信」で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,370,000	145,500	149,500	88,000	863.50
今回修正予想(B)	1,370,000	145,500	149,500	78,000	765.34
増減額(B-A)	—	—	—	△10,000	—
増減率(%)	—	—	—	△11.36%	—
前期実績	1,143,003	132,920	148,979	90,377	887.12

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、J BRAND Japan Co., LTD.、Theory Holdings LLC を新たに設立したため、GU (Shanghai) Trading Co.,Ltd.、Comptoir des Cottonniers (Shanghai) Trading Co.,Ltd.、PRINCESSE TAM.TAM (SHANGHAI) TRADING CO., LTD. については、今期より営業を開始し重要性が増したため、連結の範囲に含めております。LTH GmbHについては、第1四半期連結会計期間において清算したため、連結の範囲から除外しております。第2四半期連結会計期間において、FAST RETAILING UK LTD、J BRAND EUROPE LTDを新たに設立したため、UNIQLO Pennsylvania LLC、UNIQLO Massachusetts LLC、UNIQLO GLOBAL INNOVATION CENTER INC. (旧 UNIQLO Design Studio, NewYork, Inc)については今期より営業を開始し重要性が増したため連結の範囲に含めております。当第3四半期連結会計期間において、Theory HL Brentwood, Inc.を新たに設立したため、UNIQLO AUSTRALIA PTY LTDについては、今期より営業を開始し重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、UNIQLO FRANCE S.A.S.については、UNIQLO EUROPE LIMITED (旧 UNIQLO (U.K.) LIMITED) に吸収合併されたことに伴い、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

税金費用については、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、第2四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。この変更は、当連結会計年度における香港証券取引所上場によって、多様化した財務諸表利用者及びそのニーズに対応する有用な情報を迅速に提供するために行ったものです。なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	147,429	223,227
受取手形及び売掛金	34,187	58,983
有価証券	148,215	115,974
たな卸資産	166,654	170,404
繰延税金資産	4,002	4,543
未収還付法人税等	8,980	1,607
為替予約	113,641	96,410
その他	17,486	20,328
貸倒引当金	△488	△549
流動資産合計	640,109	690,930
固定資産		
有形固定資産	90,405	112,176
無形固定資産		
のれん	31,691	27,776
その他	46,423	46,837
無形固定資産合計	78,115	74,613
投資その他の資産	77,170	77,985
固定資産合計	245,690	264,776
資産合計	885,800	955,707
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,951	121,606
短期借入金	1,862	2,855
1年内返済予定の長期借入金	3,632	4,292
未払法人税等	26,005	27,538
引当金	10,081	6,420
その他	90,432	107,713
流動負債合計	253,966	270,426
固定負債		
長期借入金	21,926	19,997
引当金	75	81
その他	30,240	30,123
固定負債合計	52,243	50,201
負債合計	306,209	320,628

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	5,963	6,365
利益剰余金	482,109	536,374
自己株式	△15,851	△15,797
株主資本合計	482,495	537,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,978	△5,243
繰延ヘッジ損益	71,005	62,126
為替換算調整勘定	12,875	15,412
その他の包括利益累計額合計	76,901	72,296
新株予約権	1,170	1,694
少数株主持分	19,024	23,870
純資産合計	579,591	635,078
負債純資産合計	885,800	955,707



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	885,814	1,088,004
売上原価	441,869	537,243
売上総利益	443,944	550,760
販売費及び一般管理費	319,907	414,467
営業利益	124,037	136,292
営業外収益		
受取利息及び配当金	411	643
為替差益	17,886	5,350
その他	699	862
営業外収益合計	18,997	6,856
営業外費用		
支払利息	400	721
その他	600	1,263
営業外費用合計	1,001	1,985
経常利益	142,034	141,163
特別利益		
固定資産売却益	114	881
特別利益合計	114	881
特別損失		
固定資産除却損	250	114
買収関連費用	752	—
その他	576	391
特別損失合計	1,579	506
税金等調整前四半期純利益	140,569	141,538
法人税等	49,212	52,062
少数株主損益調整前四半期純利益	91,356	89,476
少数株主利益	2,935	4,640
四半期純利益	88,421	84,836

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	91,356	89,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,629	1,735
繰延ヘッジ損益	116,836	△9,095
為替換算調整勘定	20,628	3,419
その他の包括利益合計	148,095	△3,940
四半期包括利益	239,452	85,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,598	80,230
少数株主に係る四半期包括利益	6,853	5,305

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	140,569	141,538
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	16,526	21,568
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,807	4,589
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△879	11
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	0	5
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△4,268	△3,863
受取利息及び受取配当金	△411	△643
支払利息	400	721
為替差損益 (△は益)	△13,032	△3,703
固定資産除却損	250	114
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,031	△23,738
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,199	2,089
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,813	△3,272
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,804	△1,620
その他の負債の増減額 (△は減少)	15,417	23,454
その他	△1,488	△787
小計	141,671	156,463
利息及び配当金の受取額	411	640
利息の支払額	△324	△631
法人税等の支払額	△50,954	△53,223
法人税等の還付額	10,038	9,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,842	113,203
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,674	△30,306
有形固定資産の売却による収入	169	1,399
無形固定資産の取得による支出	△3,535	△4,673
敷金及び保証金の差入による支出	△3,542	△4,182
敷金及び保証金の回収による収入	1,664	579
建設協力金の支払による支出	△2,111	△2,337
建設協力金の回収による収入	1,286	1,459
預り保証金の受入による収入	39	178
預り保証金の返還による支出	△287	△276
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△26,771	—
関係会社株式の取得による支出	△1,309	△1,252
その他	530	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,541	△39,314

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,164	876
長期借入れによる収入	15,602	—
長期借入金の返済による支出	△6,107	△2,351
配当金の支払額	△27,474	△30,544
少数株主への配当金の支払額	△891	△633
リース債務の返済による支出	△2,069	△2,550
その他	△130	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,236	△35,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,081	4,078
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	48,145	42,193
現金及び現金同等物の期首残高	266,020	295,622
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	1,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	314,168	339,020

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	その他 (注2)	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内ユニクロ 事業	海外ユニクロ 事業	グローバル ブランド 事業(注1)				
売上高	541,672	191,328	150,840	883,841	1,972	—	885,814
セグメント 利益	88,343	19,624	13,446	121,414	101	2,521	124,037

- (注) 1 当第2四半期連結会計期間よりグローバルブランド事業に、新規に取得したJ Brand事業(「J BRAND」ブランドの国内・海外における衣料品販売事業)を含めております。
- 2 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。
- 3 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△3,807百万円が含まれております。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報
- (固定資産に係る重要な減損損失)  
該当事項はありません。
- (のれんの金額の重要な変動)  
該当事項はありません。
- (重要な負ののれん発生益)  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内ユニクロ 事業	海外ユニクロ 事業	グローバル ブランド 事業				
売上高	569,488	327,728	188,889	1,086,106	1,897	—	1,088,004
セグメント 利益	94,800	34,363	14,962	144,126	54	△7,888	136,292

- (注) 1 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。
- 2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△4,589百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報
- (固定資産に係る重要な減損損失)  
該当事項はありません。
- (のれんの金額の重要な変動)  
該当事項はありません。
- (重要な負ののれん発生益)  
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前年同四半期 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)		(参考) 平成25年8月期	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	225,077	25.4	231,435	21.3	286,959	25.1
ウイメンズ	263,214	29.7	282,068	25.9	331,912	29.0
キッズ・ベビー	28,777	3.2	32,836	3.0	34,204	3.0
グッズ・その他	15,833	1.8	14,057	1.3	19,396	1.7
国内ユニクロ商品売上合計	532,903	60.1	560,398	51.5	672,473	58.8
FC関連収入・補正費売上高	8,769	1.0	9,090	0.8	10,841	1.0
国内ユニクロ事業合計	541,672	61.1	569,488	52.3	683,314	59.8
海外ユニクロ事業	191,328	21.6	327,728	30.1	251,191	22.0
ユニクロ事業合計	733,001	82.7	897,216	82.4	934,506	81.8
グローバルブランド事業	150,840	17.0	188,889	17.4	206,234	18.0
その他事業	1,972	0.3	1,897	0.2	2,263	0.2
合計	885,814	100.0	1,088,004	100.0	1,143,003	100.0

- (注) 1 FC関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
- 2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 3 グローバルブランド事業は、コントワー・デ・コトニエ事業(「COMPTOIR DES COTONNIERS(コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの衣料品販売事業)、プリンセス タム・タム事業(「PRINCESSE TAM.TAM(プリンセス タム・タム)」ブランドの衣料品販売事業)、ジーユー事業(「ジーユー」ブランドの衣料品販売事業)、セオリー事業(「Theory(セオリー)」、「Helmut Lang(ヘルムート・ラング)」、「P L S T(プラステ)」ブランドの衣料品販売事業)及びJ Brand事業(「J BRAND(ジェイブランド)」ブランドの衣料品販売事業)で構成されております。
- 4 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
- 5 上記金額には、消費税等は含まれておりません。